



校庭にある栗の木には、栗の実が色づきはじめ、秋の訪れを感じる季節となりました。日中は汗ばむ日がある一方、朝夕は冷え込みを感じる日があり、体調管理の難しい時季でもあります。体調を崩さないために、睡眠を十分にとったり衣服の調節に留意したりするなど、自ら健康管理に努めていけるように声を掛けたいと思います。

11月の行事予定

1日(水) 家庭学習日(6年生)	17日(金) 作品展
2日(木) 納付金引き落とし日	全学年:5時間授業【14:30頃下校】
3日(祝・金) 文化の日	18日(土) 作品展
8日(水)~10日(金) 挨拶運動	全学年:3時間授業【11:40頃下校】
10日(金) 委員会活動	20日(月) 土曜日作品展による休業日
14日(火) 校外学習(6年生)	21日(火)・22日(水) 赤い羽根募金
16日(木) 作品展準備	23日(祝・木) 勤労感謝の日
1~5年生:4時間授業【13:30頃下校】	24日(金) 県民ホリデー(学校はお休みです)
6年生のみ:5時間授業【14:30頃下校】	28日(火) 校外学習(5年生)



PTA会費(後期分)納入のお願い

常安小学校PTAでは、PTA会費を前期・後期の2回に分けて徴収しています。

そこで、11月2日(木)の「納付金引き落とし日」に、後期分(11~3月:1,000円第3子のお子さん分及び就学援助を受けている世帯は500円)を徴収させていただきます。入金額の確認をお願いします。

体育の服装について(冬季)

これから日中も冷え込んできて、半袖の体操服では寒いと感じる子も増えてきました。冬季の体育時の服装について、以下のようにします。お子さんと相談し、必要に応じて持たせてください。ご不明な点がございましたら、担任までご相談ください。

・ 体操服の上下(半袖・長袖)は、そのまま使用します。

・ 寒いときは、体操服(半袖・長袖)の上から、トレーナーやジャージを重ね着します。

※ 危険防止のため、フードのついている服は避けてください。また、登下校時に着るものとは分けて、体育用として、ご準備をお願いします。

・ タイツ・スパッツ等を履いて登校する場合、安全のため体育時には脱ぎますので、タイツの場合は、はだしにならないよう、靴下を持たせるようにしてください。

作品展について

- 11月17日(金)
 - ・ 全学年 5時間授業【下校時刻14時30分ごろ】
 - ・ 保護者鑑賞時間:15:00~18:00
- 11月18日(土)
 - ・ 全学年、3時間授業【下校時刻11時40分ごろ】
 - ・ 給食なし・弁当なし
 - ・ 保護者鑑賞時間:13:00~16:00
- お願い



- ・ 両日ともに、お子さんは通常の時間に分団登校し、上記の時刻に下校します。また、原則として、保護者鑑賞時間まで、お子さんが学校で待機することや門で待ち合わせすることは避けたいと考えています。(当日、トワイライトスクールに参加される場合は、作品の破損を避けるため、保護者の方が必ず、児童の荷物をもって鑑賞してください)
- ・ 中門か西門からお入りください。自転車の方は西門入ってすぐの駐輪スペースをご利用ください。
- ・ 靴箱での混雑を避けるため、下靴を入れる袋をご持参ください。
- ・ 名札の着用、スリッパの持参にご協力ください。
- ・ お子さんと鑑賞される場合は、上履きを持参し、保護者同伴でお願いします。
- ・ 駐車場はありません。路上駐車をすると周辺住民の方のご迷惑になりますので、お車での来校はご遠慮ください。
- ・ 11月20日(月)は、土曜日作品展による休業日となります。

学校努力点について

本校では、「自分の思いや考えを友達と伝え合うことができる子〜グループワークトレーニングを柱とした実践を通して〜」を学校努力点のテーマに掲げて取り組んでいます。特に今年度は、話すことと聞くことのバランスが話し合いの中で大切であることに、児童が気付くことで、自分の考えを伝えようとする意欲を育てていきたいと考えています。今回は、その中から先日行われた3年2組の授業の様子を紹介します。

3年2組 9月28日(木)2時間目 学級活動「ケーキをかざろう」

ウサギの友達にケーキをプレゼントするために、ケーキの飾りをグループで話し合っ、決めていくという活動を行いました。自分の考えを伝えること、友達の話聞くことのバランスに重点を置きながら、話し合い活動を進めました。学習後の児童の感想からは自分の考えを伝えたことで、「人の気持ちを考えて楽しく話し合いをしたい」「聞くばかりでも、話すばかりでもなく、意見を言えるようになりたい」など、自己表現することの大切さや聞くことと話すことのバランスに注目した内容が多く見られました。今回の学習を通して、自分の考えや思いを伝え、友達に認めてもらったという経験をしたことで、自己有用感を育てていくことにも繋がったと考えられます。今後、様々な場面で自分の思いを伝えたい、友達のことを受け入れていきたいという気持ちを高めさせていきたいと思っています。